JCHO 湯河原病院

医療安全だより

発行　医療安全管理室
2026 年度　第 7 号

薬の確認作業どうされていますか…？

先日の出来事ですが…私やっちゃいました。宿直の調剤業務の際「ビソプロロールフマル酸塩錠 2.5mg」の処方を「ビソプロロールフマル酸塩錠 0.625mg」で調剤してしまったんです。幸い医師とのダブルチェックで気づくことができ 0 レベル報告で終えることができましたが、ヒヤッとしました。ジェネリック製剤で聞きなれない内服薬で、調剤も初めてのお薬でした。ダブルチェックの大切さを、身をもって体験しました。みなさんもこのような体験をしたことがありますか？今年度のインシデント報告では薬剤、調剤等のインシデントが多発しております。内容は調剤時の確認不足、配薬カートへのセット間違え、与薬時の確認不足等たくさんのインシデントが報告されています。私自身与薬確認は苦手な作業で確認したつもりでも間違えることも多くありました。お薬管理は非常に神経を使う業務ではありますが、患者さんにとってはとても大切な治療です。どの様に確認作業を行っているか各部署で振り返ってみてください。





グッジョブ大賞はどの部署か!?

今年度医療安全週間の取り組みとしてグッジョブ報告会を行います。今年度部署内のグッジョブ報告の中で一番良かった報告を提出していただき、大賞を決めたいと思います。指定の用紙を 2 枚お配りいたします。1 枚は自部署の仲間のグッジョブ報告、もう 1 枚は他部署に助けられたグッジョブ報告を書いて提出してください。**期間は 11 月 2 日～11 月 19 日まで**。各部署から提出されたグッジョブ報告はまとめて医療安全週間に掲示する予定です。（期間：11 月 20～11 月 27 日）とても良かった報告は医療安全管理委員会でも共有し部課長会議等で表彰したいと思います。みなさんのグッジョブ報告お待ちしております‼



「安全な医療を提供するための 10 の要点」

厚生労働省では安全な医療を提供するために 10 の要点を上げていることをご存知ですか？

①安全文化②対話と患者参加③問題解決型アプローチ④規則と手順⑤職員間のコミュニケーション⑥危険の予測と合理的な確認⑦事故の健康管理⑧技術の活用と工夫⑨与薬⑩環境整備

どれも大切な要点だな…とこの頃本当に感じています。皆さんも要点をもう一度一緒に振り返ってみませんか？